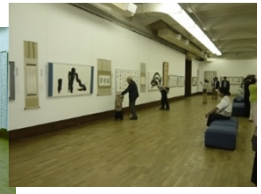
平安書道会事務局だより　平成二十六年夏号

今年の公募展は、七月の最初の週に開かれました。夏号では、公募展のほか、前半の行事を紹介します。

総　会

一月二十六日、京都駅前タワーホテルにて理事会、総会が開かれました。記念講演では、平安書道会会長　狩野直禎先生が『古詩十九首について』と題して、その成立時期についての一考察が発表されました。古詩は、私達もよく作品として書く題材ですが、いつ作られたかはまだはっきりしていません。

懇親会では恒例の福引が行われ、番号が読み上げられるたびに、あちこちのテーブルで歓声があがりました。



第九十四回　公募展

会期は七月三日から六日まで、京都市美術館一階で開催されました。梅雨の最中で毎日傘の心配がありました。去年と比べて一カ月も早く、準備期間も短いと思われる会員の方もいらっしゃったでしょうか？反対に、暑くなる前に作品が出来て良かったなという方も？

来年は九十五回という節目の年、たくさんの出品参加をお願いします。

錬　成　会

五月三十一日から一泊で、今年も粟津温泉「法師」にて錬成会が開かれました。練磨と懇親を兼ねた錬成会も三年目を迎え、多くのギャラリーを集めました。西村理事長のまわりでは、古い字体の書について解説とお手本付きで、実際に書かせてもらえたりしました。同じ題材でも、書き手が変わると、こうも違う作品になるんだとか、多様なチャレンジができる機会となっています。

授賞式の挨拶で西村理事長のお話の中に「形臨・意臨・背臨」の言葉が出てきました。手本を臨書する際の三つのステップをこう呼ぶそうです。最初は「形」を写し取る。次に書いた人の意思を読み取る。そういう訓練を続けることによって最後には、手本を見なくても、その人ならこう書くだろうと想像して書くことが出来るようになる。臨書の大切さを表すことばです。

受賞者の皆様

第九十四回　平安書道会書道公募展
特別賞受賞者

平安特別大賞	鳥越　てい
平安大賞	細見　玲汀
平安準大賞	西田　白峰
神田喜一郎賞	北本　菊江
吉澤義則賞	佐々木　五六
綾村担園賞	嶋田　麻美
京都市市長賞	小酒　華音
	埴田　明里
京都府教育委員会教育長賞	長崎　由莉
京都市教育委員会教育長賞	圖井　彩梨愛
	河上　結衣
	上田　真由
京都商工会議所会頭賞	角二　千津子
	清水　ひな
	若本　渚
平安書道会会長賞	小酒　友毬
	村橋　莉菜
朝日新聞社賞	坂谷　悦子
	大家　力輝
	白方　陽彩
毎日新聞社賞	長谷川　万綺
	中川　朱葉
	小田原　由佳
読売新聞社賞	長谷川　紘子
	多保田　万優
	番場　勇介
京都新聞賞	邑楽　勢津子
	三島　夏実
	菊田　咲葉
京都ユネスコ会長賞	北地　唯羅
	市橋　拓朗
	庄田　愛実
	小町　紗耶華
	長崎　正尚
	本谷　優成
京都新聞開発㈱賞	川瀬　穂華
	寺内　ななか
	一居　万葉
京都銀行頭取賞	清水　紫音
	小中　隆司
	海田　梨那
	出島　凛平
	布川　陸
墨運堂賞	室　雄大
	木村　仁美
	重吉　祐里奈
	南出　虹葉
芸術新聞社賞	都賀田　なつ
	舟津　力斗
	番場　涯
	西垣　萌衣
呉竹賞	中村　莉菜
	稲葉　和み
	奥村　優月
	本　真比路
	村中　太一
	副島　和奏
	大山　樹里
	大倉　芹菜
	正垣　穂乃香
	藤井　美緒
	秋山　里菜
	西上　真由実
会賞	藤本　欽陵

＊＊＊　ちょこっと作品紹介　＊＊＊

芸術新聞社賞を受賞した西垣萌衣さんは、京都市の高校二年生、先生はとても優しい土井清華先生です。ちいさいときからずっと先生の教室に通っています。中学生からは行書をはじめ、いまでも小学生達に混じってお稽古です。

来年もがんばって連覇するとの嬉しいことばを聞くことができました。。

平安大賞を受けられた細見玲汀先生の、百人一首全首を一枚に仕上げた作品は、観る人を圧倒する迫力です。遠くから見ると、あたかも雲のたなびく山並みにも見えますが、近づくとともに、仮名で綴られた短歌のヒトツヒトツであることがわかります。

細見先生によると、百人一首の百首のうち、女性の歌は二十一首。今回は女性の歌から書いたそうです。と、なにやら大きな紙が出てきました。

なんと非常に細密な作品の設計図でした。百首、一つでも抜けたら大変。その配置や大きさ等、びっしり下書きされたものを見て驚くとともに納得しました。

かなしいお知らせ

平安書道会理事の角南香露先生が亡くなりました。今年に入って体調を悪くされ、五月末に逝ってしまわれました。公募展には、先生が以前に書かれた作品が展示されました。御冥福をおいのりします。